

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科

授業科目名	調律実技(アップライト)		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	調律実技(アップライト)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	144回(288単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置コース	ピアノ調律研究コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。					
授業概要						
毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロ)のブースに入り、調律を行う。						
到達目標						
1台60分で調律する。 より実践的な調律技術の習得。「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～72回目	ピッチ変更なし1台 90分					
	ピッチ変更なし1台 80分					
	442Hzへ2Hz変更 100分 下律…約20分 本調律…約80分					
【後期】 73～144回目	442Hzへ4Hz変更 120分 下律…約30分 本調律…約90分					
	4Hz上げ 100分 下律込み					
	ピッチ変更なし 1台60分 本調律のみ					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科

授業科目名	調実技(グランド)		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	調律実技(グランド)		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(単76位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ調律研究コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に勤務後、フリーランスの調律師として活動中。					
授業概要						
YAMAHA、KAWAIのグランドピアノを使用し、90分で調律を行う。						
到達目標						
グランドピアノの調律を習得し、1台90分以内で仕上げることを目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～19回目 【後期】 20～38回目	■グランドピアノ調律の準備 ・屋根の開け方、鍵盤蓋・譜面台の取り外し方法 ・アップライトピアノとの調律方法の違い ・各セクションでの工具の使用方法 ■調律方法 ・ピッチ採り、割振り 音叉を使用し、440Hz 442Hzどちらかのピッチに合わせる。 その後、37A-42Dから割振りを始める。 ・中音オクターブの調律 ・低音オクターブ調律 ・高音オクターブ調律 ・低音、高音、中音 各セクションのユニゾン調律 ■各セクションでの工具の使い方について 調律方法はアップライトピアノとほぼ同じだが、工具の使用方法や使用箇所は異なるところもある。					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考	上記工程を反復行うことで、グランドピアノならではの音を感覚的に捉えられるようになり、繰り返すほどその感覚は優れたものとなり、調律精度の向上、時間の短縮につながり、調律師としての技術力が向上する。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科

授業科目名	ピアノ演奏		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ピアノ演奏	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ調律研究コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	自宅及び出張の個人レッスンをを行う。代講レッスンも行う。					
授業概要						
調律後に確認を行う際の演奏のための個人レッスン						
到達目標						
調律後に確認を行うための演奏技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～2回目	自由曲の選曲					
【前期】 3～4回目	講師が指定したページまでのレッスン レッスン後は個々に練習して次回へ					
【前期】 5～6回目	練習してきたもののチェック その後 直し					
【前期】 7～8回目	通しレッスン					
【後期】 9～10回目	強弱、表現のレッスン					
【後期】 11～12回目	テンポ確認のレッスン					
【後期】 13～15回目	通しレッスン(タイムを計る)					
【後期】 16～18回目	通しレッスン 仕上げ					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科

授業科目名	ピアノ業界演習		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	ピアノ業界演習		年次	1年次	
授業時間	180分(1単位時間45分)		年間授業数	7回(28単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ調律研究コース				教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴						
授業概要						
楽器業界の企業による製品・技術セミナーやESP学園主催イベントでの接客演習、リクルートセミナー						
到達目標						
楽器の専門知識の実践と、実際の応用方法を理解する						
授業計画・内容						
【前期】 1～2回目	調律師としてのマナー講座(言葉遣い、身だしなみなど) 現場を想定したシミュレーション					
【後期】 3回目	楽器業界の企業による製品・技術セミナー					
【後期】 4～7回目	ESP学園主催イベント					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科

授業科目名	整調実技(アップライト)		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	整調実技(アップライト)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18～214回(36～428単位時間)	年間単位数	1～14単位
科目設置コース	ピアノ調律研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、その後ピアノ調律事務所を独立開業し、現在に至る。				
授業概要					
修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上を行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。					
到達目標					
整調時間短縮、精度向上。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格					
授業計画・内容					
【前期】 1～107回目 ※個人の選択によって回数変動	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。				
【後期】 1～107回目 ※個人の選択によって回数変動	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて ポイントとなる工程の練習				
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し				
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し				
	模擬試験				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科

授業科目名	整調実技(グランド)		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	整調実技(グランド)		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	18～214回(36～428単位時間)	年間単位数	1～14単位
科目設置コース	ピアノ調律研究コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、その後ピアノ調律事務所を独立開業し、現在に至る。					
授業概要						
YAMAHAとKAWAIのグランドピアノを使用し、内部の構造や部品のつくりを理解しながら全24工程の作業を行う。						
到達目標						
鍵盤を押してから音が鳴るまでの各パーツの動きの理解、それらひとつひとつを調整して弾き心地を揃える技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～107回目 ※個人の選択によって回数変動	1オクターブで調整(第1回目) 1.ネジ締め 2.フレンジ点検 3.ハンマー間隔直し 4.ハンマー走り直し 5.ハンマー角度調整 6.弦合わせ					
	7.鍵盤調整 8.ベディングスクリュー調整 9.鍵盤ならし 10.鍵盤間隔直し 11.白鍵あがき 12.サポート合わせ					
	13.ジャック前後調整 14.ジャック高さ調整 15.ハンマーならし 16.ハンマー接近 17.ハンマー戻り 18.黒鍵あがき					
	19.働き調整 20.バックチェック合わせ 21.バックチェックワイヤー曲げ 22.ハンマーストップ 23.レベティションレバースプリング調整 24.アクション総点検					
【後期】 1～107回目 ※個人の選択によって回数変動	1セクションで調整(第2回目) 1.ネジ締め 2.フレンジ点検 3.ハンマー間隔直し 4.ハンマー走り直し 5.ハンマー角度調整 6.弦合わせ					
	7.鍵盤調整 8.ベディングスクリュー調整 9.鍵盤ならし 10.鍵盤間隔直し 11.白鍵あがき 12.サポート合わせ					
	13.ジャック前後調整 14.ジャック高さ調整 15.ハンマーならし 16.ハンマー接近 17.ハンマー戻り 18.黒鍵あがき					
	19.働き調整 20.バックチェック合わせ 21.バックチェックワイヤー曲げ 22.ハンマーストップ 23.レベティションレバースプリング調整 24.アクション総点検					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科

授業科目名	修理実技		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	修理実技		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	18～214回(36～428単位時間)	年間単位数	1～14単位
科目設置コース	ピアノ調律研究コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	調律事務所にてピアノ調律業務に携わり、その後フリーランスの調律師として活動中。					
授業概要						
修得した技術の応用に新たな技術を加え、アップライトピアノ、グランドピアノの修理を行う。						
到達目標						
弦の張り替えや部品の交換等、総合的な修理、再生技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～107回目 ※個人の選択によ って回数変動	ハンマーシャンク修理					
	センターピン交換					
	フレンジブッシングクロス交換					
	張弦キットを使用した張弦 「ピアノ調律技能検定 実技試験」で使用する張弦キットを用いての張弦					
【後期】 1～107回目 ※個人の選択によ って回数変動	バットフレンジコードの交換					
	ブライドルテープ交換					
	バットスプリングコード交換					
	鍵盤ブッシングクロス交換					
	張弦					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						